愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	地域ビジネス特講Ⅱ		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

人々が働く（就職・就労・経営する）上での「形態」と「組織」には多様な選択肢がある。この授業では、「働く形態」と「働く組織」について、多くの具体的な事例を交えて理論的かつ実践的に学ぶ。「働く形態」として、多様な企業の業種と職種、個人事業主・自営業、法人、起業家、公務員のそれぞれの特徴と実態を学ぶ。「働く組織」として、大企業と中小企業、ＮＰＯ法人、公益法人等、経済団体、国、自治体のそれぞれの特徴と実態を学ぶ。社会には、多様な「働く形態」と「働く組織」があることを理解して、具体的なイメージを持つことで適切な進路選択や実践の一助とする。必要に応じて、各回で雑学、時事問題、就活情報等も紹介する。授業形態は、原則各回を対面とするが、必要に応じて事前に連絡した上でオンラインで行う場合がある。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	実践的な学習に重点を置いて、授業テーマに関わる具体的な事例を多く取り上げて、知識・ノウハウを深める。特に、担当教員が実際にビジネスや活動に携わった事例、あるいは調査研究で関わった事例を主に取り上げることで、リアリティを持って理解できるようにする。事例学習は各回必要に応じて行う。 担当教員は、シンクタンク企業や民間非営利組織10団体以上に所属して、様々な実践活動や国・自治体の政策形成に携わってきていることから、その具体的な実務経験を紹介することで、リアリティを持って実践イメージを持てるようにする。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の内容・進め方・課題・成績評価方法等。多様な「働く形態」と多様な「働く組織」の概要	□
第2回	働く形態１：企業の業種・業界	「業種」と「職種」の違い。企業にはどのような業種・業界があるのか（卸小売・飲食・サービス業、製造・建設業、情報通信・運輸業、金融・保険・不動産業、農林漁業など）	□
第3回	働く形態２：企業の職種・職業	就業形態（働き方）の分類。職種・職業別の求人と賃金の現状。企業ではどのような職種・職業があるのか（事務、営業・販売・サービス、モノづくり、管理、専門・技術、輸送・機械運転、建設・採掘、運搬・清掃・包装、保安・警備、農林漁業など）	□
第4回	働く形態３：個人事業主・自営業	個人事業主・自営業やフリーランスの特徴、法人との違い、企業労働者との違い、メリット・デメリット。一人や家族や小規模の経営にはどのようなものがあるか（小売店、農家、漁師、建築家、旅館、タクシー、士業、コンサルタント、診療所、理美容院、浴場、クリーニング店、プログラマー、デザイナー、作家・翻訳家、芸術家、俳優・芸能人、スポーツ選手、将棋棋士、宅配スタッフなど）	□
第5回	働く形態４：法人	株式会社やＮＰＯ法人などの法人とは何か。法人化のメリット・デメリット。法人の営利と非営利の違い。営利法人・非営利法人の種類。法人の社団と財団とは。法人でない団体とは	□
第6回	働く形態５：起業家	新しく事業を起こす起業家（スタートアップ、ベンチャービジネス、ソーシャルビジネス等）とは何か。起業における組織形態・方法。起業で必要なこと。株式会社や個人事業主の具体的な設立ノウハウ（手続き・書類・費用）	□
第7回	働く形態６：公務員	公務員とは何か。国家公務員の種類と各部門と人数。自治体の地方公務員の種類と各部門と人数。公務員の給与体系・諸手当	□
第8回	前半授業の掘り下げと事例	前半の各回授業テーマに関する学びの掘り下げ、事例学習等	□
第9回	働く組織１：大企業と中小企業	大企業と中小企業それぞれの定義と特徴と現状（違い）。中小企業の開業・廃業と事業承継	□

第10回	働く組織２：ＮＰＯ法人	働く３つのセクター（企業と行政とNPO）の違い。NPOセクター（非営利組織）とは何か。狭義のNPO（NPO法人）と広義のNPO（公益法人等）。NPO法人の社会的存在意義（企業や行政では担えないもの）。NPO法人の数や活動分野や収入・支出	□
第11回	働く組織３：公益法人等	広義のNPO（非営利組織）の特徴。公益法人等の法制度。広義のNPOの様々な事例（公益社団法人、公益財団法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、生活協同組合、農業協同組合、宗教法人等）	□
第12回	働く組織４：経済団体	様々な経済団体、日本の経済３団体、商工会議所・商工会、中部の経済４団体。経済団体の事例（日本経済団体連合会、商工会議所・商工会、経済同友会、中小企業家同友会、農協、漁協等）	□
第13回	働く組織５：国	国の３つの働く組織（国会、裁判所、内閣）。国の行政機関（内閣）の内部組織と役職。行政機関の事例（内閣官房、内閣府、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、警察庁等）	□
第14回	働く組織６：自治体	自治体の働く組織（地方公共団体）。都道府県と市・町・村・特別区の相違点。自治体の業務内容。自治体の議決機関と執行機関。自治体職員の階級・数・給与の事例	□
第15回	後半授業の掘り下げと事例	後半の各回授業テーマに関する学びの掘り下げ、事例学習等。働く上で大事なこと	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前に授業テーマに関する予習をしておき（１時間程度）、事後に授業での学びを整理して考察すること（３時間程度）。授業中にしっかりとメモ（ノート）を取り、想像力を働かせながら理解・イメージした上で、学んだことを整理して、自身の言葉・文章で適切に表現すること。学んだことを実社会での出来事と照らし合わせるとともに、そこから自らの疑問や興味に応じて様々な手段で学びを深めて、自らの考え方を持てるようにすること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の授業で少しずつレポート課題（授業での学びや考察等）を行うことで無理なく復習等を行い、将来の仕事・生活や就職活動等で活かせるように学びの蓄積を行いやすくする。質問・意見等への回答等フィードバックは次回以降の他、電子メールや研究室等で柔軟に行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	**◆ 2021地域ビジネスDP2**	人々が働く上での「形態」と「組織」を理論的かつ実践的に理解・説明できる。社会には多様な「働く形態」と「働く組織」があることを理解して具体的なイメージを持つことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：授業期間中の各回授業レポートで評価。原則、各回授業に出席することで出席扱い。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特にありません。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)

1	テーマに関連した参考文献や実践的な活動情報等を必要に応じて授業中に紹介する。	
2		
3		
4		
5		